

## 第3次伊勢市子ども読書活動推進計画（案）における パブリックコメント結果概要について

### 1 パブリックコメント実施の概要

- (1) 意見を募集した案件  
第3次伊勢市子ども読書活動推進計画（案）
- (2) 周知方法  
公報、ホームページ、広報いせ、CATV 文字放送
- (3) 計画（案）の縦覧場所（20 か所）
  - ・教育委員会社会教育課
  - ・総務部総務課
  - ・総合支所生活福祉課（二見・小俣・御薗）
  - ・支所（神社・大湊・宮本・浜郷・豊浜・北浜・城田・四郷・沼木）
  - ・伊勢市役所東庁舎1階
  - ・伊勢市立伊勢図書館
  - ・伊勢市立小俣図書館
  - ・伊勢市生涯学習センター（いせトピア）
  - ・伊勢市二見生涯学習センター
  - ・いせ市民活動センター
- (4) 意見提出の対象者  
伊勢市内に在住、通勤又は通学している人など
- (5) 意見募集の期間  
平成30年1月22日（月）から2月22日（木）まで

### 2 意見募集の結果

意見数	1人（2件）
提出方法	メール

### 3 意見内容及び市の考え

No.	寄せられたご意見	市の考え
1	<p>12 ページ ②・③、14 ページ ③</p> <p>週 1 回程度の学校図書館スタッフの配置では少なすぎると思います。毎日ずっと、1 人の学校司書が継続して学校にいれば、司書教諭などが行っている読み聞かせや選書、読書ボランティアなどが行っているストーリーテリング、市立図書館が行っているおはなし会やブックトークやビブリオバトルなどを、専門的な知識のもと、その学校の取り組みや、その学校の子どもたちに合わせて、連携して行えると思います。</p> <p>民間企業への委託では、学校や子どもたちの情報を得たり、即座に対応することが難しいと思われまますので、伊勢市が学校司書を雇用して配置し、子どもたちの読書活動に対し、直接その責任を果たしてください。</p> <p>伊勢図書館発行「Voice」、中学校の図書委員さんたちのビブリオバトルの号を読ませていただきました。図書委員さんたちが選んだ本の半数以上が、伊勢図書館には無いとのこと。折角、ヤングアダルト図書コーナーも設置・新設されたのに、中学生が読む本との乖離を感じます。学校に学校司書がいて、毎日子どもたちに接していれば、子どもたちの思いも選書に生かすことができます。国の「学校図書館法」に学校司書を置くよう努めることが定められたのなら、ぜひ伊勢市でも学校司書を配置してください。</p>	<p>12 ページ②「人的体制の整備」につきまして、伊勢市では、司書教諭をはじめとする教員に加え、学校図書館スタッフ、教育支援ボランティアによって、学校図書館の活動を支援しています。</p> <p>学校図書館への専門的職員の配置については、その重要性を考え、平成 25 年 10 月から伊勢市学校図書館活性化支援事業により、司書の資格をもつ学校図書館スタッフを市内全小中学校に配置しています。平成 25 年度は週 1 回程度の配置であったものを、平成 29 年度は週 1.5 回程度に拡充しました。</p> <p>ご指摘のとおり「学校図書館法の一部を改正する法律」に学校司書を置くよう努めることが定められていることから、計画本文の同項目にも記載したとおり、今後、学校司書等の専門的な人材の配置拡充について検討を行ってまいりたいと考えております。</p> <p>12 ページ③「学校における取組、市立図書館との連携」、14 ページ③「市立図書館における取組」につきましては、ビブリオバトルの実施等、引き続き学校と市立図書館の連携を深め、市立図書館においては、伊勢市立図書館資料収集方針等と照らし合わせながら、中学生の声を生かした魅力的な書架づくりに取り組んでまいります。</p>
2	<p>内容についてはありませんが、数字のフォントが見にくいです。見やすいものにしてください。</p>	<p>数字のフォントを見やすいものに修正します。</p>